

たのはた

議会だより

No.
137
2023.12.15
岩手県田野畑村議会



9

月定例会

- 2 新しい議会体制が始動
- 4 令和4年度決算を認定
- 8 みんなのスマイル

力を合わせて 1、2の3

11月16日早朝、今年初となるアワビの口開けが行われ、村の漁港では次々とアワビが水揚げされました。(写真は、切半地区の佐藤和正さん、糸子さん親子)

新しい議会体制が始動



議員と委員会構成などを紹介します



副議長 佐々木 功夫
(田野畑・78歳)

議員の皆様のご推挙により副議長に就任しました。責務の重さに、あらためて身が引き締まる思いです。私は、可能な限り村民に寄り添い、その声を村政に反映させ、皆様の負託に応えられるように努め、住みよい村づくり、持続可能な村を目指してまいります。



議長 鈴木 隆昭
(島越・68歳)

議長に再任していただき、責任の重さに身の引き締まる思いが致しております。

本村のみならず地方は、人口減少が急速に進んでおりますし、基幹産業の農林水産業も著しく衰退して、危機的状況にあります。

また、議会に目を向けますと、機能強化が求められておりますし、議員のなり手不足も深刻です。そうした諸課題の解決に向けて議論を深め、その結果を村民の皆様にお知らせしてまいります。

議員改選後の初議会は9月5日に開かれ、当選した議員10人が議会議場に参集しました。初議会では、議長と副議長の選挙を行い、議長に鈴木隆昭議員、副議長に佐々木功夫議員を選出しました。また、各委員会構成などを決定。議員の顔ぶれと各委員会の構成、監査委員（議会選出）、一部事務組合議会議員などを紹介します。



なかむら かつあき
中村 勝明
(沼袋・75歳)

「村民が主役」の立場を貫いて、村民の声を村政に反映させます。そして、議会の審議に多くの住民が関心を持つような活動に一層努めます。



おの きょうじ
小野 協次
(菅窪・62歳)

私は、田野畑村の産業振興と福祉の増進に努め、地域が笑顔で元気になるように、村民と共に村の課題に取り組んでいきます。



かみむら こうじ
上村 浩司
(北山・53歳)

本村を取り巻く状況の精査と、課題解決に向けた道筋をしっかりと村民に示し、開かれた議会と、より良い村づくりのため、一生懸命頑張ります。



こまつやま ひさお
小松山 久男
(田野畑・66歳)

今期で4期目となります。村民の思いを力タチに、希望の桜とともに、住民とのコミュニケーションを大切に、誠心誠意努力してまいります。



ささき しん
佐々木 伸
(島越・54歳)

私は、村民の福祉向上のため、村民の声を聴き、これまで以上に一体感のある村づくりを目指し、努力してまいりますので、皆様よろしく願います。



ささき ゆたか
佐々木 芳利
(甲地・72歳)

人口減少・高齢化等で希薄になった地域内交流。支え合いと助け合いで、地域コミュニティの再構築を図り、次世代に繋げる村づくりを目指します。



くどう もとむ
工藤 求
(島越・71歳)

震災復興後の凛とした豊かな村づくりのため、村政の諸課題に全力で取り組みたいと思います。「全員野球」で、村民の力を結集しましょう。



はたけやま さとし
畠山 智
(集合・60歳)

誰もが田野畑村に生まれてよかった、この村で暮らしたいと思う村にしていきたいと思っています。「共に暮らしましょう、田野畑村で」。

田野畑村監査委員（議会選出）

監 査 委 員	佐々木芳利
---------	-------

一部事務組合議会議員

宮古地区広域行政組合議会	工藤 求 上村 浩司
岩手県後期高齢者医療広域連合議会	中村 勝明

田野畑村消防委員

消 防 委 員	小松山久男 佐々木功夫 佐々木 伸
---------	-------------------------

各委員会の構成

委員会名	委員氏名	内容
・総務教育 民生常任 委員会 ・広報公聴 常任委員 会	委員長 佐々木芳利 委員 中村 勝明 委員 上村 浩司 委員 佐々木 伸	・総務、教育および民生に関する事務の調査、請願や陳情などの審査 ・議会広報の編集発行
・産業建設 常任委員 会	委員長 小松山久男 委員 工藤 求 委員 小野 協次 委員 畠山 智 委員 佐々木 功	・産業、経済および建設に関する事務の調査、請願や陳情などの審査
・議会運営 委員会	委員長 佐々木芳利 委員 小松山久男 委員 工藤 求 委員 佐々木 功	・議案や請願などの審査のほか、会議規則、委員会条例、議長との諮問に関する事項などを担当

令和4年度決算を認定

9月
定例会

第6回定例会が、9月11日から9月15日までの会期で開かれました。村長提案の報告1件、議案5件は、原案どおり可決。追加で、同意案2件を同意しました。

一般質問は、2人の議員が登壇し、村の姿勢を質問しました。

また、令和4年度各会計決算の審査は、議長を除く全議員で構成する決算特別委員会（委員長・佐々木芳利議員）を設置して行われ、最終日の本会議でいずれも認定しました。

令和4年度決算

●一般会計 歳出総額43億3561万円、執行率92・6%

・起立全員で認定

●国民健康保険特別会計

○事業勘定 歳出総額5億7709万円、執行率93・7%

○直営診療施設勘定 歳出総額1億1064万円、執行率93・9%

・起立全員で認定

●簡易水道特別会計 歳出総額2億315万円、執行率97・7%

・起立全員で認定

●集落排水特別会計 歳出総額4992万円、執行率98・8%

・起立全員で認定

●下水道特別会計 歳出総額3046万円、執行率92・6%

・起立全員で認定

●介護保険特別会計

○保険事業勘定 歳出総額5億1794万円、執行率95・5%

○介護サービス事業勘定 歳出総額848万円、執行率93・9%

・起立全員で認定

●後期高齢者医療特別会計 歳出総額3964万円、執行率84・8%

・起立全員で認定

※各決算の執行率は、予算現額に對する歳出総額の割合です。

議決した主な議案など

●令和4年度田野畑村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

令和4年度の健全化判断比率は次表のとおりです。実質公債費比率は8・6%で、早期健全化基準25・0%を下回りました。

比率名	健全化判断比率	
	令和4年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%
実質公債費比率	8.6%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%

※比率が算定されなかった場合は「—」を記載している

●田野畑村公園条例の一部を改正する条例

田野畑村公園条例に定める位置及び施設について、所要の改正をすること。

●令和5年度一般会計補正予算（第4号）

1億7255万5千円を追加し、総額を36億933万2千円とするもの。

・主要内容：財政調整基金積立金7805万7千円、障害者自立

支援給付費1770万円、道路除排雪等業務委託料など

●令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

【事業勘定】294万4千円を追加し、総額を5億9453万9千円とするもの。

・主要内容：特別調整交付金返還金225万7千円など

【直営診療施設勘定】28万3千円を減額し、総額を1億1760万2千円とするもの。

●令和5年度簡易水道特別会計補正予算（第1号）

200万円を追加し、総額を2億1041万6千円とするもの。

・主要内容：修繕費200万円

●令和5年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

【保険事業勘定】1567万円を追加し、総額5億5434万6千円とするもの。

・主要内容：介護給付費負担金等返還金1238万8千円など

人事案件に同意

●教育委員会委員

前原静美氏及び川畑勝也氏を選任することに同意しました。任期は、9月16日から4年間です。

賛成

小松山久男議員

厳しい財政状況考え
有利な起債の確保に努めた

本村の、厳しい財政状況を考え、
地方債の発行に当たっては、可能な限り財政支援措置のある有利な起債の確保に努めたところである。また、道の駅や、サンマッシュ田野畑と連携を強化しながら、交流人口の増加を図ることを信じて賛成する。

賛成

上村浩司議員

財政健全化判断比率の
各指標は良好

財政状況については、実質公債費比率8・6%、財政健全化判断比率の各指標は良好であった。
また、観光、福祉、教育についても、村の将来を見据えた様々な事業が展開され、その充実が図られている。

議案番号	議案名等	審議結果
報告第1号	令和4年度田野畑村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第1号	田野畑村公園条例の一部を改正する条例	可決
議案第2号	令和5年度田野畑村一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第3号	令和5年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第4号	令和5年度田野畑村簡易水道特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第5号	令和5年度田野畑村介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
認定第1号	令和4年度田野畑村一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	令和4年度田野畑村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和4年度田野畑村簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和4年度田野畑村集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和4年度田野畑村下水道特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	令和4年度田野畑村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	令和4年度田野畑村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
同意案第1号	田野畑村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
同意案第2号	田野畑村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意

ここが聞きたい！一般質問

2 議員が村政を問う

9月定例会の一般質問は9月12日に行なわれ、中村勝明議員、上村浩司議員の2人（登壇順）が、村政運営や産業振興対策について村の考えを問いました。ここでは、各議員の一般質問と村長の答弁の内容を掲載します。

質問議員	質問項目
中村 勝明	◆難聴者への補聴器助成を検討しているか ◆住宅リフォーム制度の検討について (その他の質問) ・マイナンバーカードの交付率と個人情報 を保護するための村の対応・対策は ・養殖ワカメ加工施設等の事業運用の取 組み強化について伺う ほか3件
上村 浩司	◆村民懇談会での共通課題や提案内容を伺う ◆移住・定住の支援策などについて伺う (その他の質問) ・ALPS 処理水放出の影響について

(一般質問のうち、各議員2項目を抜粋し掲載しています。)

補聴器助成をどう検討しているか

村長…県独自の購入助成事業があり
村もその事業を活用している



中村 勝明^{議員}

【問】難聴者への補聴器助成をどのように検討しているか。

【村長】現在は、身体障がい者手帳を所持している高度・重度難聴者について、補装具支給制度により負担軽減がされている。

また、この制度の対象とならない18歳未満の軽度、中等度難聴者については、岩手県独自の購入助成事業があり、本村もその事業を活用して対応している。

県事業に加えて独自補助を行っている県内の事例としては、久慈市が65歳以上で両耳の聴力レベルが40デシベル以上の人、大船渡市では18歳以上で両耳の聴力レベルが50デシベル以上の人を対象としている。

また、生活保護世帯や課税・非課税世帯で自治体により助成割合が異なることから、今後その理由や効果等の把握に努めていきたい。

【問】県内29市町村が住宅リフォーム制度を有している。村は、どう検討しているか。

【村長】村の制度としては、耐震診断および耐震改修制度、下水道・合併浄化槽改修制度、高齢者・障がい者関連改修制度、移住者改修制度がある。

また、県の制度としては、大きく分けて省エネ関連制度と県産材関連制度の二つがある。県では、市町村の上乗せを含む制度の拡充を検討しているとの情報があり、本村も県の動向を踏まえて制度の拡充や見直しを検討したい。

村民懇談会での共通課題や提案内容は 村長…高齢化等で共同作業が大変に 各地区と協議・検討していく



上村 浩司^{議員}

【問】村民懇談会が開催されたが、共通する課題や提案などについて伺う。

【村長】共通課題としては、高齢化と人口減少に伴い、草刈り等の共同作業や支障木の伐採が大変になってきたことが挙げられる。地域内の草刈りについては、各地区と相談して区域を決定させていただきたい旨を回答した。

また、役場新庁舎の建設、ナラ枯れ対策、シカ・クマ対策等についても、現状や今後の見通しについての質問が複数の地区からあった。

今回いただいた要望や指摘事項などについては、庁内で対応を協議し、後日各地区に回答するとともに、予算化が必要なものについては、順次、議会に諮りたいと考えている。

【問】移住・定住の促進を図るための情報発信や支援策などの実施状況を伺う。

【村長】本村の魅力発信については、ホームページやポータルサイト、SNSを活用した地域おこし協力隊の募集等を行っている。また、都内で開催される移住・定住イベントのブースの開設、都市圏で開催される物産展等での周知活動を予定している。

加えて、村出身者のUターンを促進するため、在京田野畑村ふるさと会などと連携し、情報発信や交流を強化していくための予算を、今議会に計上させていただいた。

また、移住・定住者への支援策については、公営住宅や空き家の紹介、定住促進住宅の整備と子育て世帯への半額免除、移住者へのリフォーム助成などを実施している。

「一般質問」って
なあに？



村の仕事全体に関することや、日頃考える地域の課題などについて、なんでも質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

なお、国や県の仕事や課題については、国会や県議会では話し合われます。

・持ち時間は1時間

田野畑村議会では、議員1人につき、1時間以内の持ち時間を設定しています。その中で、質問と村長からの答弁、再質問とそれに対する答弁を行います。

・事前通告

質問したい議員は、あらかじめ質問内容を文書で通告します。

・登壇順（質問順）

通告書を受け付けた順番に、議長の許可を得て登壇します。

みんなのスマイル😊



くまがい ひろむ
熊谷 大夢さん
(猿山 24歳)

◆お仕事は
JAの野菜集出荷場で働いています。

◆村の好きなところは
自然が豊かで、山や海の恵みがたくさんあるところ。今年は、マツタケが豊作で集出荷場も大忙しでした。

◆村や議会に期待することは
同年代の仲間が増えてほしい。そのためにも、若い人たちが働く場所ができるとうれしいです。

◆スマイルや元気のもと
車が好きなので、いろいろな所に出かけてドライブを楽しんでいます。それから、釣りをしたり、山に入って山菜やキノコを採ることでリフレッシュしています。



議会広報担当者研修会の様子

議会の研修活動

◆委員長研修会（岩手県町村議会議長会主催）

- ・期日等…10月20日（金）、岩手県自治会館
- ・受講者…中村勝明（総務教育民生常任委員会副委員長）、小松山久男（産業建設常任委員会委員長）、工藤 求（同副委員長）

◆町村議会広報担当者研修会（岩手県町村議会議長会主催）

- ・期日等…11月9日（木）、ホテル花巻
- ・受講者…佐々木芳利（広報公聴常任委員会委員長）、中村勝明（同副委員長）、上村浩司、佐々木伸（以上委員）

◆町村議会新議員研修会（岩手県町村議会議長会主催）

- ・期日等…11月24日（金）、岩手県自治会館
- ・受講者…小野協次、畠山 智、佐々木 伸

岩手県後期高齢者医療広域連合議会

中村勝明議員
副議長に就任

岩手県後期高齢者医療広域連合議会の臨時会が10月31日、岩手県自治会館で行われ、本村議会議長の中村勝明議員が副議長に就任しました。



あ
と
が
き

新改選後初めての定例議会において、令和4年度決算約59億円が認定されました。震災復興ピーク時においては、120億円の決算がありました。

徐々に震災前の予算規模に近づいている感があります。さらなる村の前進の為に皆様のご意見、英知をお寄せください。

（広報公聴常任委員会
委員長 佐々木芳利）